

第2回江別市廃棄物減量等推進審議会書面会議結果

(実施期間：令和3年10月1日～10月11日 回答13件 無回答0件)

◆ 報告事項

(1) 環境クリーンセンター等長期包括的運営管理委託事業内訳について

<p>《資料説明》</p> <p>・本資料は、令和3年7月5日に提出した説明資料について、委員より価格の内訳についてご質問を受けたことから、内訳を記載した追加資料となります。委託費の増加要因としては、近年の労働賃金や物価の上昇に伴い、人件費や施設整備の資材価格が上昇したことによるものです。</p>		
委員	意見等	市の考え方
押谷委員	人件費、資材価格が高騰していることから、委託費の増額は止むを得ないと考えます。変動費についても増額になることは止むを得ませんが、市として、ごみの減量化、資源物の回収を一層、進めることが必要であると考えます。とりわけ、食品廃棄物問題については市民の理解と協力を進めるとともに、資源化について積極的な検討を求めます。	食品廃棄物問題は重要な課題と考えることから、食材を無駄なく使う調理・保存方法の普及に向けた講習会開催のほか、宴会等での「30・10運動」や消費・賞味期限の近いものから購入する「手前取り」について市民へ啓発を進めるとともに、スーパーマーケット等から発生する事業系食品残渣を資源化するため、引き続き民間事業者と連携してまいります。
林倉委員	昨今の資源価格の高騰を考えるとユーティリティー費の約1.18倍については長期的にやや心配な面があるが、大幅な変動等があった場合の対応は、どのようなものになるのか。	次期委託契約では、異常な物価上昇等により、事業の実施継続が困難であると判断できる合理的理由がある場合においては、協議のもと委託料の改定を行うことができるとされていることから、契約締結後においても対応が可能となっております。(現行委託契約同様)

<p>落合委員</p>	<p>全ての企業では、日々合理化や改善を継続し弛まぬ原価圧縮を実現させているところであり、その様な企業努力が見えぬままの価格見積りや工事内容の受け入れでは、そのまま市の財政悪化や市民への負担増を招くこととなりますのでご留意いただきたい。</p>	<p>市民や市財政の負担を減らすために、委託費の縮減は大変重要な課題であり、今後ともごみ処理事業を安定的に継続していくためには、人件費や原材料費、燃料費など、社会経済情勢を踏まえ適正価格であることが重要だと考えます。そのため、これまで事業内容の改善や価格の適正について事業者と協議を重ねるとともに、透明性・客観性を確保するため、第三者の立場から廃棄物処理に詳しいコンサルタントによる適正な価格について検証を行っており、今後におきましても、引き続き適正な経費の検証に努めてまいります。</p>
<p>和田委員</p>	<p>環境、経済産業両省はプラスチック 12 品目より提供削減を事業者に義務付ける方針を固めたようですが、これからもプラスチックに代わる材料が出るでしょうが、コロナ禍の中で外食もままならず家で食事することになり、プラスチック又は弁当の容器等が多くなり、ゴミが思っている以上に増えていくと思います。</p>	<p>環境クリーンセンターでは、資源物で収集するペットボトルと白色トレイを除くプラスチックゴミは、廃棄物からエネルギーを回収するサーマルリサイクルにより適正に処理されていることから、プラスチックゴミの増加について現状で影響はありませんが、今後、資源化を進める上で、環境負荷や国内外の問題のほか、国が進めるリサイクル技術開発の動向などを注視しながら、リサイクルを含め、より最適な処理方法を検討してまいります。また、排出抑制の観点から、引き続き市民や事業者と連携して、マイバックやマイボトル・カップ持参運動等を進め、使い捨てプラスチック容器の削減に取り組んでまいります。</p>

<p>千葉委員</p>	<p>ごみの収集の仕事を拝見いたしまして人件費の上昇それは、やむを得ないことと思います。</p>	<p>現行の委託事業を開始した平成19年度から現在までの約14年間における労務単価の推移としましては、東日本大震災の復興需要の影響が出始めた平成25年度から著しく上昇しており、近年も単価の上昇傾向に変わりありません。また、そうした社会経済情勢の中、更に人員の高齢化やコロナ感染対策に係る人的経費も加わるなど、14年前と比べ、人件費等の上昇はやむを得ないのが現状です。</p>
<p>石田委員</p>	<p>専門家が試算しているのであれば、もう少し細かく提示し、金額が大き過ぎてわかりにくいので、一般の人でも想像しやすい提示の方法がないか模索しても良いのではないかと思います。</p>	<p>委託費の内訳は、1. 人件費、2. ユーティリティー費、3. 整備、補修費、4. 変動費の主要項目について分類しておりますが、事業者見積りのこれ以上細かな内容については、今後の入札・契約に関わる事項でもありますことから、市としては公にすることは適当ではないと考えております。なお、金額が大き過ぎてわかりにくいとのご指摘につきまして、今後は一般の人にも想像しやすい提示方法について検討してまいります。</p>

(2) 今後のごみ処理費用及び財源の推移について

《資料説明》		
<p>・ 令和4年度から、環境クリーンセンター等の委託費が増加（約10億円→約13億円）するとともに、延命化工事費（約33億円）や新最終処分場（埋立地）の造成工事費（約35億円）が必要になるほか、近年の社会状況（賃金）を踏まえると、ごみ収集運搬業務に係る人件費も増加するため、現状の手数料収入の状況では、今後、市の財政負担が大きくなることが予想され、財源のあり方について検討する必要があります。</p>		
委員	意見等	市の考え方
押谷委員	<p>さまざまな費用が拡大するなかで、廃棄物処理は市民のより良い生活環境の保全と密接にかかわるため例え市の財政負担が拡大しても、業務を縮小することはできないと考えます。一方、排出者責任という視点から考えれば、手数料（有料化）を値上げすることを検討すべきと思います。そのために、適正処理、不法投棄防止の徹底に努め、市民の理解と協力を得ていただき、堂々と値上げを進めて下さい。</p>	<p>適正にごみ処理体制を維持して行くことは、将来にわたり生活環境を保全する上で重要であることから、令和3年3月に策定した江別市一般廃棄物処理基本計画（基本方針4-2 適正なごみ処理手数料の検討）に基づき、見直しを進める段階にあるものと考えております。</p>
林倉委員	<p>事業所の手数料は改定されており市民の手数料改定も不可避と存じますが、指定ごみ袋制度における手数料変更事例等を教えていただければ幸いです。</p>	<p>道内において家庭ごみ有料化後に値上げ等の改定を実施又は実施予定の自治体は、登別市、室蘭市、恵庭市があり、何れも家庭ごみ1リットル当たり2円から3円に値上げとなっております。</p>

<p>落合委員</p>	<p>類似事業を推進する他の公共団体の取り組みとの比較や相見積りを踏まえた検討が必要になると思います。 いずれにしても、更なる企業努力を求めぬままに工事費や手数料に上乗せしただけでは、市民の納得が得られないと考えます。</p>	<p>令和元年度の市全体の「使用料・手数料の見直し」時の原価計算（平成16年10月の家庭ごみ有料化のルール：処理原価の1/3を市民負担）では、ごみ処理手数料（指定ごみ袋）の算定結果は1リットル当たり3円となっております。今回の工事費等も要因の一つではありますが、今後、手数料と処理原価との乖離が一層大きくなることから、将来のごみ処理体制を確保するため、江別市一般廃棄物処理基本計画に基づき、見直しを進める必要があるものと考えております。</p>
<p>和田委員</p>	<p>毎日生活するなかでこんなにごみに莫大なお金がかかっているとこの仕事をする事により改めて、ごみを出さない様にと思いました。運搬業務にかかわる方達のご苦勞を思います。 委託費の増加、人件費等がかかり、いたしかたないと思う反面、各家庭でごみをへらす運動を試みたらいかがなものでしょうか。</p>	<p>ごみ処理体制の維持に向けた財源を確保するとともに、ごみの減量化・資源化を進めることは重要でありますことから、引き続き市民・事業者へ減量化・資源化を働きかけてまいります。</p>
<p>石田委員</p>	<p>近年の社会状況では財政負担が大きくなることは避けられませんが、リユースや既存の最終処分場の有効活用で財源の補填はできませんか？</p>	<p>現状において、既存の最終処分場は使用中のため、太陽光パネルを設置等して有効活用はできないことから、財源の確保は難しいものと考えております。</p>

(3) 民間事業者とのリユースに関する協定締結について

《資料説明》		
<ul style="list-style-type: none"> 市ではごみの発生抑制・再利用の促進に向け、7月に民間事業者（株式会社ジモティー）とリユースに関する協定を締結し、リユース（再使用）の啓発を進めています。今後は、当該事業者と連携した効果的なリユース活動の展開を検討します。 		
委員	意見等	市の考え方
押谷委員	株式会社ジモティーの定款、資本金、役員構成、事業内容などの情報がないため、どのような会社か判断できません。 江別市が契約を締結するにあたっては、事業の安定性、継続性がなにより優先すべきと考えますので、慎重な対応を求めます。	現在、市ではコロナ禍において、会場でのリユース市から市ホームページでの掲載方法に変更して実施しています。今後、より多くの市民に市のリユースの取り組みを知ってもらうため、当該事業者のサイトの活用を検討するもので、既に全国の自治体でも同様の取り組みが行われており、会社情報等は、別紙資料を添付させていただきます。
林倉委員	ジモティーでの個人情報とは、どのような取扱いか。	協定に基づき当該事業者には守秘義務があり、市のリユース品に申し込む市民の個人情報は守られます。
星委員	高齢者、ネットサイトを使用しない人には参加しづらい。現物を確かめる事が出来ない。この事業が効果的なリユース活動になるか道内の他市では、どの位の活用量があったか知りたい。又、問題点はないのか？等。 札幌市ではリサイクル広場等で市民から回収した品物、すぐ修理が出来る物は直し格安で販売しています。江別市でもシルバー人材センターなどと協働して直せる物は直して家具等のリサイクルが出来るのでは、と思います。	協定締結前に、既に当該事業者と連携してリユースに取り組んでいる北見市と紋別市に活用状況をお聞きしたところ、問題点はないとのことでありました。また、札幌市のように一定の経費をかけて修理後に販売する取り組みについては、費用対効果の面から難しいものと考えております。

落合委員	手間の掛かる煩雑な事業ですが、大変素晴らしい取り組みです。洒落たキャンペーンを展開し広く市民の関心を誘っていただきたい。	より多くの市民にリユースの取り組みを周知できるよう工夫してまいりたいと考えております。
和田委員	人件費・施設整備の資材価格が上昇しているなかでリタイヤしている人も沢山いると思いますが中にはいろいろな分野で活躍した方もいると思いますのでボランティアでお願いしたらいかがでしょうか。	ボランティアとして協力して頂ける方がどれくらいいるのか、また、どのようなお手伝いをしていただけるのかなど、一手法として検討したいと思います。
石田委員	リユースはとても良いと思います。人件費や設備費などはかかってしまいますが、ごみの中にもリユースできるものなどがあるかもしれませんし、できる範囲で探すなどしてオークションに出品などをして財源の確保につなげられませんか？	江別市一般廃棄物処理基本計画では発生抑制（リデュース）と再使用（リユース）を優先的に取り組むこととしており、引き続き効果的なリユースについて取り組んでまいります。なお、市のリユース事業はリユース啓発のため、大型ごみで出された品目を市民に無料で提供するもので、この趣旨に鑑みますと、財源確保のためのオークション等への出品は難しいと考えております。
大西委員	実際にジモティー江別を拝見しました。投稿フォームからのメッセージのやりとり、そして受け渡しと処分するまでに多少時間を要することもあり、又、個人的に交渉するのが面倒と感じる人等にはあまり魅力的ではないかもしれませんが実績の報告がとても気になるころではあります。	市が当該事業者のサイトを活用する場合、現在、市ホームページ上で行っているリユース市（年2回）の開催頻度を増やすなど、市民の利便性を高めたいと考えております。
立田委員	今までは、リサイクル、リユースをしたくても取扱いが平日の8:45～17:15まででしたので、利用する事が困難でした。いつでも利用できるサイト利用は良いと思います。	当該事業者のサイトを活用する等、今後も、効果的なリユースの取り組みを進めてまいりたいと考えております。

西谷委員	「捨てるには勿体ない」だけど、人に譲ると相手にかえって気を遣わせる、ヤフオクやメルカリ等に出品するのはハードルが高い、リサイクルショップに持ち込むのも大変等とごみに出していた人が何とかこれならできるかと思える新たな選択肢となつてとても良いと思いました。	今後も、リユースの促進に向け、市民への啓発に努めてまいります。
------	--	---------------------------------

◆ その他

《資料説明》 ・その他に意見等があればご記入ください。		
委員	意見等	市の考え方
和田委員	封書が届いて中4日しかなく、私の様に初めての参加でいろいろと廃棄物等の書類の勉強もしなければ、文書にもなれなく、10日位の日数があればと思いました。	次回以降、書面会議の日数について配慮いたします。
千葉委員	家庭ごみが土曜日収集廃止になりましたが、各自治会は定着致しましたか。 クリーンセンター直接搬入の件ですが、利用したのだが車の列でなかなか自分の番がこない。以前より手続きがむずかしい。料金はあがっている土曜、日曜日と休みだから仕方がないが、この混雑、利便性を考慮して搬入方法を検討してほしいとの要望がありました。	引き続き、環境クリーンセンターの直接搬入の混雑緩和に向け、手法等の検討を行ってまいります。

大西委員	令和3年4月から、クリーンセンターの搬入日と搬入時間が変わりましたが、直接のごみの持ち込み等は減少しているのか半年経過し気になるところではあります。	環境クリーンセンターにおける家庭ごみの直接搬入数の変化については、半年間比較（4月から9月）は、令和2年度が14,632件に対し、令和3年度は11,821件と、2,811件の減少となりました。
西谷委員	使用済み割り箸の回収を検討して欲しいです。	市内において、これまで割り箸のリサイクルを行っていた王子エフテックス江別工場がリサイクルを中止し、現在は、苫小牧市にある関連会社でリサイクルを行っているため、市での回収は難しいものと考えております。